タウンミーティング まるちゃんカフェ

タウンミーティング 地域編 vol.13 市長と一緒にみんなで対話しながら考えよう！

地域のこれから in 望海

市民と市長との対話のきろく



現在気になっていること、市長や行政、みんなと一緒に考えたいこと

不登校の未然防止

内 容

・不登校を未然に防止するため、学校作業療法の視点を。明石市内のどの学校でも活用できる仕組みをつくりたい。

・居場所サポーターの研修に作業療法の視点を取り入れていただきたい。

参加者より

・自分は居場所サポーターだが、校内フリースペースを設置していただいて本当に良かったと実感している。

・保護者からは、子どもが安心して学校に通えるようになり、家で泣くことも少なくなった。とても心強く感じているという声をいただいている。

・学校作業療法の視点をどの学校にも取り入れる仕組みがあれば、不登校へのサインへの気づきなど未然防止につながる。

市より

・放課後児童クラブには作業療法の視点が入る仕組みをつくっているが、学校への作業療法の視点もとても大切だと思っている。

・居場所サポーターの研修時に声を上げてもらえるとありがたい。研修時には、各学校一人の居場所サポーターが孤立しないよう横のつながりをつくって、情報共有や悩みを分かち合うことが大切だと思っている。

・提案いただいた内容は教育委員会に話をして、実現させられればと思う。

タウンミーティング後に確認したこと

今後、各学校の不登校担当教員や居場所サポーター対象の研修において、学校作業療法の視点をテーマとした研修会を実施したいと考えている。（教育委員会　児童生徒支援課）



不登校児の遊び場

内 容

不登校でも人の目を気にせず遊べる、体を動かせる室内の遊び場がほしい。

参加者より

心がしんどい時に心でアプローチすると改善しにくいが、体を動かすことで心を元気にするという学校作業療法の考え方がある。

市より

学校体育館に空調設備を入れた。難しいかもしれないが、例えば体育館を開放してもらうことができないか教育委員会とも話してみようと思う。

タウンミーティング後に確認したこと

学校ごとの判断になるが、安全が十分に確保される場合、授業時間内等で校内フリースペースを活用している児童生徒が居場所サポーター等と一緒に、体育館で体を動かすことも考えられる。（教育委員会　児童生徒支援課）

ランドセルが重い

内 容

ランドセルが重すぎる。タブレットを毎日持ち帰る必要はあるのか。

参加者より

・ランドセルも重いが、特にタブレットが重い。大変なので何とかしてほしい。基本学校に置いておいて、必要な時だけ持って帰るようにできないか。

・新しくなってカバーが重い。

市より

タブレットが連絡帳がわりになっている面もある。声があったことは、教育委員会に伝える。

タウンミーティング後に確認したこと

2026年度にタブレットが更新され、本体は軽量化され性能も向上したが、カバーが少し重くなっている。タブレットは連絡帳や課題提出等に活用しているため原則持ち帰ることとしているが、一部の教科書等は学校に置いたままでよいようにするなど、通学時の負担を減らすよう取り組んでいる。（教育委員会　学校教育課）

タウンミーティング まるちゃんカフェ

タウンミーティング 地域編 vol.13 市長と一緒にみんなで対話しながら考えよう！

地域のこれから in 望海



市民と市長との対話のきろく

現在気になっていること、市長や行政、みんなと一緒に考えたいこと

フリースクール、こども食堂への助成金

内 容

・フリースクール助成金の増額を。

・こども食堂の助成金について、参加者の数を考慮してほしい。

参加者より

・フリースクールの助成金は月額最大1万円だが、実際の費用に対しては微々たるもの。家庭の経済事情によってフリースクールに通える、通えないといった格差が生まれているという現状を目の当たりにしている。

・経済事情にかかわらず、フリースクールに行ける選択肢を持てるような額にしてほしい。

市より

・市としては多様な学びの場を用意していきたいと思っている。2026年4月からすべての小中学校に、子どもが安心して過ごしてもらえるような居場所・フリースペースをつくり、居場所サポーターを配置した。また、市内に2か所あったもくせい教室も3か所目をつくった。さらに、経済的な余裕がない家庭でも通えるよう無料のフリースクールとして、定員いっぱいだった明石の「トロッコ」に加えて魚住に「ここのば」をつくった。順番待ちがなくなっていると聞いている。とはいえ民間のフリースクールを選択する人もいるので、上限1万円の助成制度もつくったところ。

・小学校給食が無償化されたが、フリースクールに通っている子どもについては、給食にかかる国からの補助金5,200円もお渡しし、現在合計で月15,200円をお渡ししているので、ご理解いただきたい。

・経済的な事情で民間のフリースクールが難しい方には、ぜひ「トロッコ」や「ここのば」を紹介してほしい。

・こども食堂の件については、今後検討していく。



広報誌をエリア別に

内 容

全明石版と地域版の広報あかしにしてほしい。

参加者より

広報誌のボリュームが増えたため、すべて読み込みづらい。神戸新聞地域版のような形なら、必要な情報が確認しやすい。

市より

・広報あかしを2026年7月からリニューアルし、全戸配布とした。これまで新聞折り込みで月2回入れていたが、新聞購読者が減る中、市内約14万世帯のうちポスティングを含めても約5万世帯にしか届けられていなかった。

・市政情報は市民のもので、それを伝えることは最低限のベーシックサービス。予算をかけて本年7月から全戸配布に取り組んだ。

・費用がかなり増えたため、月2回から月1回の発刊にしたが、ページ数を増やし、情報量をしっかり確保するようにしている。配布に1週間程度かかる。コールセンターも2年間設置しているので、届いていなければ連絡してほしい。

・地域版については、神戸市のように区単位になっているとわかりやすいが、例えば西明石と大久保の境目といった部分が難しい。市の公式LINEであれば、地域別にすることも可能かもしれない。現在登録者数が3万人程度だが、リアルタイムで情報が届くので、ぜひ登録し活用してほしい。

・今後もLINEなどのSNSと広報誌をうまく使い分けながら、必要な人に必要な情報が届くようにしていきたい

タウンミーティングの進捗、成果

内 容

タウンミーティングの進捗や成果を広報誌でも教えてほしい。言いっぱなしはもったいない。

市より

これまでも市HPで報告しているが、この秋に実施する「あかし対話と共創ウィーク」に合わせて、広報誌でも対話と共創の特集をしていきたい。

タウンミーティング まるちゃんカフェ

タウンミーティング 地域編 vol.13 市長と一緒にみんなで対話しながら考えよう！

地域のこれから in 望海

市民と市長との対話のきろく



現在気になっていること、市長や行政、みんなと一緒に考えたいこと

西明石駅南口の安全

内 容

・西明石駅南口～南町の道路整備が遅れている。

・安全面を確保してほしい。

参加者より

・最近車が多くなってきて、迷っているような運転をする方、スピードを出す方もいる。安全面が心配。

・生活道路への配慮を促す看板も必要。

市より

・駅南口の改札や駅前広場ができ便利になった中、駅に接続する道路を広げているところ。車通りが心配という声をいただいている中、警備員を配置し、看板を設置している。

・道路拡張については、用地買収を進めているが権利関係が複雑。早く進めたいと思っているが相手方がいる話でもあり、丁寧に対応を進めているところである。

・生活道路への配慮を促す点については、検討する。

卸売市場を防災拠点に

内 容

卸売市場を防災の拠点にしてほしい。

参加者より

藤江校区の指定避難所は藤江小学校だが、北へ避難するという考え方でいうと卸売市場が良いと思っている。食べ物や水もあり、防災拠点として位置付けてほしい。望海中学校は遠い。

市より

耐震上難しい面はあるが、大事な提案として聞かせていただいた。

コミセンのエアコン

内 容

藤江小学校コミセンにエアコンを設置してほしい。

参加者より

藤江小学校コミセンをクールスポットに認定して活用してほしいが、エアコンがないため難しい。

市より

小学校の体育館については国からの補助があったが、コミセンに対する補助はない。災害対策の観点から国の補助メニューがないか研究していきたい。

高齢者の移動

内 容

・貴崎⇔西明石間の高齢者の移動手段の確保を。たこバスを乗り継いで行けるようにしてほしい。

・藤江で乗り換えて明石医療センターにも行けるようにしてほしい。

参加者より

・貴崎から西明石へは直行で行くことができず、自転車や徒歩で行く必要がある。たこバスを要望しているが、実現していない。西明石駅付近が便利になっているが、貴崎の住民としては使いにくい。高齢化も進んでおり、移動も考慮してほしい。

・たこバスがあれば、乗り継いで総合福祉センターに行くこともできる。

・地域コミュニティで移動手段を確保する場合、リタイヤされた元大型トラックのドライバーなどをお願いする方法もある。

・企業の送迎バスを空いている時間帯に活用する方法もあるのでは。

市より

・市内には移動の問題を重点的に解決すべき交通不便地があるが、西明石はJR、山陽電鉄、路線バスも通っており、比較的交通の便は良いとされている。たこバスを走らせると路線バスの売り上げが落ち、撤退につながる懸念もあり、たこバスを運行するのは難しい。バランスが大切。

・バスも運転手不足。燃料費も高騰しており、たこバスについては年間2億4000万円程度の補助金を出して維持しているのが現状。

・魚住中学校区のタウンミーティングで聞いた話だが、地域コミュニティの中で社会福祉協議会と連携して、病院への送迎を行っている例がある。例えば車をお貸しして、地域でモデル事業的にやってもらえるようなプランも考えられる。地域で体制づくりができるか一緒に考えさせていただきたい。

・ボランティア的な立ち位置で報酬は安価になるかもしれないが、元トラックドライバーのような人材が地域にいれば是非にと思う。

・明石養護学校のスクールバス10台を、送迎時以外の昼間の時間帯に活用することができないかということも考えている。



タウンミーティング まるちゃんカフェ

タウンミーティング 地域編 vol.13 市長と一緒にみんなで対話しながら考えよう！

地域のこれから in 望海

市民と市長との対話のきろく



現在気になっていること、市長や行政、みんなと一緒に考えたいこと

松江海岸のごみ

内 容

松江海岸でのバーベキューでごみが問題になっている。

参加者より

松江海岸でバーベキューをする方が多いが、ボランティア専用のごみ箱にごみを捨てる人が多くいる。片づけず帰る方や炭の放置も多く、クリーン活動が追いつかない。ごみを持ち帰るように対策したいが難しく夏は悲惨な状態。海岸をきれいにしたい人たちとレジャーに来ている人たちの思いの乖離が大きいように感じる。

市より

・長年の課題。松江海岸を含め明石の海岸がウミガメが戻ってこれる場所になるよう、条例をつくり進めているが、なかなかマナーが守られていない。啓発について考えていきたい。

・それぞれの地域で海岸清掃していただいている。市民の力だと感じており、市としても応援していきたい。

あかねカレッジ

内 容

icottoにあかねカレッジの分校をつくってほしい。

参加者より

あかねカレッジは3年しか通うことができず、高齢者の交流の場になりきれていない。コミセン単位の高齢者大学を復活させてほしい。西明石であればicottoを活用できる。

市より

・社会の変化もある中、決まった時間に通えない高齢者もいるということで、オンラインや参加しやすい形を考えようと始めたのがコミセンでのあかねカレッジのライトコース。icottoの活用については、今皆さんの意見をicottoミーティングで聴いているところ。何ができるかを一緒に考えていただきたい。

・あかねカレッジはスタートして5年目。通っている方や今日いただいたご意見も踏まえながら、今後のあり方を考えていきたい。

～市長より、タウンミーティング地域編の終わりにあたって～

・みなさんとお話しした内容については、すぐできることとできないことがあるが、今後の施策にしっかり生かしていきたい。市HPでもまとめを公開していく。

・今回地域を回って、皆さんと心を合わせながら話をさせていただけたこと、市長としてこんな幸せなことはない。

・地域の中で出た様々な意見のうち大切なものについては、今後テーマ別でもタウンミーティングをして、深掘りしていきたい。

